

カリキュラム検討委員会からの提言 「学校あるある」 ⑨

日課表が気持ちと時間の余裕を生み出します

盛岡市内 ある小学校教員の声

「昼休みに子どもたちをせかすことがなくなった」
「早くしなさい」という言葉がけをしている自分に気付いた。

上記の言葉は、6月に岩教組が行った全県分会訪問で聞いた声です。全国学力・学習状況調査や岩手県新入生学習定着度調査、全国体力テストが中止となりました。1学期の行事削減もあったことも要因でしょう。私たちは、コロナ禍で気付いたこと、気付かされたことがありました。

気持ちと時間の余裕を生み出せるよう年度末反省会議で、日課表について提案してみませんか。花北遠野支部で開催された「カリキュラム編成講座」で、各学校の日課表を持ち寄りました。一つとして、同じ日課表はありませんでした。日課表はそれぞれの学校の実態に応じて作成するもの。働き方改革を進める上でも日課表の検討は大切です。

こんな小学校の日課表はどうでしょう

Table with columns for days of the week (月, 火, 水, 木, 金) and rows for school activities (児童登校, 朝読書, 朝の会, 1校時, 2校時, 自由遊び, 3校時, 4校時, 給食, 昼休み, 清掃集会, 5校時, 6校時, 帰りの会, 下校).

★朝学習 → 朝読書
・朝読書で落ち着いたスタート
・読書習慣の定着
・朝自習の教材準備や指示がいない

★業間運動 → 自由遊び
・子どもたちの創意工夫、異年齢集団との交流の場になる
・教職員も一緒に遊ぶ、休養するとか自由に
・いない指示や指導がなくなり、お互いにストレス解消

★みんなが昼休み時間を確保できるような給食指導の形にしよう。
★担任外が各学級の給食指導に入る。(週1回ぐらい担任を自由に)

★朝会の概念を変える！各種集会を昼休み後に実施している下閉伊支部や県南支部の学校からは、子どもたちが落ち着いて参加でき、絶対おススメとの声。
朝の慌しさが解消できたと子育て教職員にも大好評！

★放課後に教材研究の時間を最低でも1時間を確保！

「学校改革討議資料2020」より